

資料 H- 1ページ

(法第10条第1項第7号)

2024 年度の事業計画書

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

1 事業実施の方針

- ① の事業では、犬猫合計 500 頭以上を引き取り保護することを目標とする。ただし譲渡が困難な犬猫が増えていることに鑑みて、広報力の強化と寄付金の増加を図る。
- ② の事業では、犬猫合計 500 頭を新しい飼い主に譲渡することを目標とする。また引き続き譲渡が困難な成犬や成猫の対策を強化するため、成犬 30 頭と成猫 30 頭の譲渡を目標とする。
- ③ の事業では、情報発信を強化し、より多くの対象者に情報を届けることを目標とする。
- ④ の事業では、① で保護した動物の不妊手術を滞りなく行うことを目標とする。また外来診療についてはその役割を見直すこととする。
- ⑤ の事業では、従前のおりより良い情報発信を目標とする。
- ⑥ の事業では、新規事業を立ち上げるための準備を行う。
- ⑦ の事業においては、その他事業（収益事業）の在り方について見直しを行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
①行政施設で殺処分される犬猫を引き取り保護・飼育する施設（アニマルシェルター）を運営する事業	保健所や愛護センターなどの行政施設で殺処分直前の犬猫を施設に保護して、譲渡のための健康管理やしつけ等を行う。また、譲渡が困難な犬猫については、施設で生涯飼育する。	随時	法人事務所	21 名	千葉県、茨城県、福井県、静岡県、山梨県、船橋市、柏市の 7 自治体
②行政施設から引き取った犬猫に不妊手術を施し、新しい飼育者へ譲渡する事業	前記事業で保護した犬猫たちに不妊手術を施し、新しい飼い主に譲渡する。	随時	全国	15 名	犬猫の飼育を希望する不特定多数

資料 H- 2ページ

③幼齢避妊去勢手術の普及と犬猫の適正な飼育を啓発する事業	団体ホームページで犬猫の飼育に関する情報提供や啓発を行う。	随時	法人事務所	2名	不特定多数
④幼齢避妊去勢手術を主たる目的とした動物病院事業	団体が保護中の犬猫の不妊手術および、保護団体や個人が保護する犬猫を対象に、幼齢不妊手術外来を提供する動物病院を運営する。	随時	法人事務所 所属の動物病院	5名	犬猫を保護する団体や個人
⑤この法人の特定非営利活動に係る事業に関する情報提供・サービス事業	主にインターネットを通じて、前記事業すべてに対する情報発信を行う。	随時	法人事務所	3名	不特定多数
⑥その他この法人の目的の達成のために必要な事業	新規事業を模索し、開拓し、立ち上げるために必要な調査・研究・準備等を行う。	随時	全国	2名	不特定多数

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテル事業、 ・ペット霊園事業 ・通信販売事業 ・損害保険代理業 ・ドッグラン事業 ・物品販売事業 ・飲食事業 ・前号に該当しない動物病院事業 	本来事業の助けとなるよう、定款に規定されたその他の事業についての調査および研究を行う。	随時	法人事務所	2名

以上

<この事業計画書について>

この文書は、当団体を応援して下さる皆様によりわかりやすいメッセージをお届けするために、行政機関に提出する書式とは別に作成しているものです。

なお、2023 年度から引き続きの目標となりますので重複する部分は割愛しております。詳細は『2023 年度事業計画』もご覧ください。

<活動全体にかかわる目標>

前年度に引き続き下記の目標を掲げて活動して参ります。

◆2028 年までに、一部の人や団体だけを犠牲にすることなく、殺処分ゼロを実現する自治体を新たに作ります。◆

2023 年度事業計画から

間の医療や福祉でも問題になっていますが、動物の保護活動も一部の人々の犠牲によって成り立っているのが現実です。（中略） 献身と言えば聞こえがいいですが、それだけでは継続性や広がりには限界があるばかりか、こうした活動全体が一般の人から敬遠されかねません。

（中略）

こうした思いから、単純に殺処分ゼロを掲げるのではなく、具体的な道筋と在り方をイメージできる目標を掲げることにいたしました。

これらを実現する具体的な施策として 2023 年度に引き続き下記を実施して参ります。

・活動を応援して下さる方を増やすため活動を身近に感じることができる発信を強化する。

・活動資金を増やすため、ご寄付を増やすために「認定 NPO 法人格」の取得を目指す。

※2023 年度に皆様のご協力を得て申請しましたが、運営管理に至らない点があり実現できませんでした。改善して再び挑戦する予定ですので引き続き応援をよろしくお願いたします。

2023年度の事業報告から

何をするにもお金のかかるこの活動。そして基本的には活動そのもので収益を上げることは難しい性質のものであります。だからこそ多くの方のご寄付で成り立っていますが、それでも当団体の活動はここ数年毎年1,000万円を超える赤字と非常に厳しい状況です。犬猫を譲渡するときに里親さんに実費の一部をご負担いただけてさえこの数字ですので、譲渡が困難な動物が増えていけばもっと苦しくなることは目に見えています。

<犬と猫にかかわる目標>

◆猫の年間500頭の譲渡を目標とします。◆

猫は依然として保健所に持ち込まれる子が多く、譲渡による救命が大きな柱であるため数値目標を設定します。

◆2028年度末までに成犬の収容能力を二倍にすることを目標とします。◆

収容能力とは単にスペースがあるというだけではなく、一頭一頭に十分なお世話が行き届き、ご家庭には及ばないものの犬たちが元気に幸せに暮らしている状態をいいます。

以上が2024年度の事業計画です。

これからも皆様のご支援・ご声援をよろしくお願いたします。

2024年5月19日

NPO法人犬と猫のためのライフポート

理事長 稲葉友治